

「応接室に寄贈された額 ～自立 共生～」の紹介

看護部長 田中 恵子

応接室に入ると左壁に「自立共生」と書かれた作品があります。隣接する緑ヶ丘特別支援学校の小川直紀教頭先生から寄贈していただいたものです。

自己を確立し、自らの考えに基づいて判断、批判し、自分の力で生きることを「自立」といい、他者の自立を尊重し、「自立」した個人が相互に理解支え合うことを「共生」といいます。

全紙(70×136cm)横に行書で書かれた作品は、額のマットが白りんずで上品なため、応接室が以前より明るくなりました。迫力ある書で壁面によくなじんでいます。小川先生のペンネーム(雅号)は匪石(ひせき)です。県立高校の書道の先生で、生徒に書道、篆刻、中国文人画を教え、三重県書道連盟・運営委員長で、本年度から参与となられ、いつも明るく元気に



ご活躍されております。

今春還暦を迎えられ、来春の退官記念に寄贈していただいたとも伺っております。また県内で初めて普通高校の中に誕生した杉の子特別支援学校石薬師分校、その石薬師高等学校の校長室には和額を、緑ヶ丘の校長室には篆刻作品を寄贈され、ともに文句は「自立共生」、今回三重病院には、洋額です。

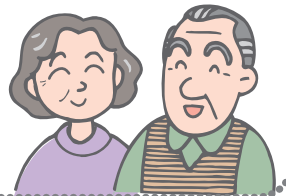
子供たちの未来のために、学校と病院のより良き連携の証として末永く大切に飾り続けていきたいと思っております。御寄贈に御礼と感謝申し上げます。

医療福祉相談室だより

退院に向けてのサポート

私たちが退院に向けてサポートさせていただくなかで、たくさんの患者さま、ご家族さまとの出会いがあります。ある時、「酸素ボンベを使わずに生活できたら…」と願いながら治療に専念し在宅退院を目指す二人暮らしの患者さまと奥さまに出会いました。“酸素”を使用しながら安全に生活できるよう院内、院外の関係者が集まり住宅環境や福祉用具を検討しました。退院前のサービス担当者会議が開催され「病状が安定しているので酸素は必要ないですよ」と主治医から告げられたその瞬間、患者さまの笑顔とスタッフの拍手が沸き起こりました。これは患者さま奥さまおふたりの支え合いとおちからがあつてこそその結果でした。退院後は、二人三脚で過ごされるお二人をチームでサポートしていきます。

(退院調整看護師長
川上 千代)



「健康フェスタ からだスキャン」

9月28日(土)・10:00～15:00 / 三重病院 外来ホール

三重病院では9月28日(土)10時から15時に「健康フェスタ からだスキャン」を開催することになりました。院内の外来ホールを開放して健康相談や血糖値測定など充実した企画となっています。

また、お昼12時頃に三重大学医学部軽音楽部“SUNNY ALL STARS”の演奏もあります。

自分のからだの事は気になるけれど、なかなか受診する機会がない方は是非とも9月28日(土)に当院までお越しください。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

(管理課 橋村 良成)

三重病院 健康フェスタ からだスキャン
～家族でメタボに向き合おう～

テーマ からだスキャン
日時 9/28(土) 10:00～15:00
場所 三重病院 外来ホール

相談コーナー
・健康相談
・歯科相談
・衣薬相談
・栄養相談
・介護相談

検査コーナー
・血糖値測定
・内臓脂肪測定
・体脂肪測定
・骨密度測定

展示コーナー
・バランス食
・内臓脂肪画像
・血液検査解説

三重大学医学部軽音楽部 SUNNY ALL STARS の演奏が12時頃にあります!!

入場無料

お問い合わせ
三重病院 管理課
担当: 後藤・橋村
Tel:059-232-2531
http://www.hosp.gu.jp/mie/

開催のお知らせ